



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年11月1日

上場取引所 東

上場会社名 大成ラミック株式会社

コード番号 4994 URL <http://www.lamick.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼管理本部長

(氏名) 木村義成

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長兼管理本部長

(氏名) 木村義成

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日

TEL 0480-97-0224

平成22年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	9,529	7.9	1,081	1.6	1,091	1.4	627	12.8
22年3月期第2四半期	8,831	3.5	1,064	32.8	1,076	32.6	556	22.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	101.15	—
22年3月期第2四半期	89.63	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	16,350	11,156	68.2	1,797.04
22年3月期	15,383	10,762	70.0	1,733.53

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 11,156百万円 22年3月期 10,762百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	33.00	—	37.00	70.00
23年3月期	—	33.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	33.00	66.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,740	4.1	1,631	△7.5	1,636	△8.8	856	△7.2	137.88

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「2.その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 6,300,000株 22年3月期 6,300,000株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 91,518株 22年3月期 91,469株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 6,208,495株 22年3月期2Q 6,208,581株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
【第2四半期累計期間】	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、欧州経済の先行き懸念、米国金融緩和の継続等により急激な円高が進むなか、企業収益の圧迫や高水準で推移する失業率等、依然として厳しい状況が続きました。

当軟包装資材業界におきましては、原油高や原材料の需給バランスの変化によるコスト高要因が続き、為替相場の変動に伴う企業経営への影響も大きく、業界各社における利益確保は予断を許さない状況であります。

このような状況下、当社のビジネスモデルである液体充填機と包装フィルムを提供する体制のもと、食品業界から洗剤・化粧品業界まで積極的な営業活動に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は95億29百万円（前年同期比7.9%増）、営業利益は10億81百万円（同1.6%増）、経常利益は10億91百万円（同1.4%増）、四半期純利益は6億27百万円（同12.8%増）と増収増益になりました。

[包装フィルム部門]

包装フィルム部門につきましては、猛暑効果により夏物商品が好調だったことに加え、アンプルカット商品も順調に伸びました。また、原材料高によるコスト増に対応するため、生産体制の合理化・効率化を図り利益確保に努めました。

その結果、包装フィルム部門の売上高は88億21百万円（前年同期比6.4%増）となりました。

[包装機械部門]

包装機械部門につきましては、アンプルカットの採用が広がり、既存充填機のアンプルカット対応への改造及び新規導入が進み、前年同期の売上を上回りました。

その結果、包装機械部門の売上高は7億7百万円（前年同期比31.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べ9億67百万円増加し、163億50百万円（前事業年度末比6.3%増）となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ10億68百万円増加し、115億9百万円（同10.2%増）となりました。主たる増加要因としては、営業活動の拡大等により受取手形及び売掛金が8億65百万円、商品及び製品が1億67百万円増加したことによるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べ1億円減少し、48億41百万円（同2.0%減）となりました。主たる減少要因としては、建物・機械及び装置の減価償却費が建物・機械及び装置の取得額を上回り前事業年度末と比べ1億50百万円減少したことによるものです。

負債合計は、前事業年度末に比べ5億73百万円増加し、51億93百万円（同12.4%増）となりました。主たる増加要因としては、営業活動の拡大等により買掛金が6億40百万円、未払法人税等が46百万円増加し、流動負債のその他が1億43百万円減少したことによるものです。

純資産合計は、前事業年度末に比べ3億94百万円増加し、111億56百万円(同3.7%増)となりました。主たる増加要因としては、業績が拡大したこと等に伴い、利益剰余金が3億98百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前事業年度末の70.0%から1.8ポイント下降し68.2%となり、1株当たり純資産は1,797円4銭となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動による収入が6億20百万円、投資活動による支出が4億51百万円、財務活動による支出が2億40百万円であったことにより、前事業年度末に比べ71百万円減少し、当第2四半期会計期間末には24億51百万円となりました。

当第2四半期累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動の結果得られた資金は6億20百万円(前年同期比13.3%減)となりました。

これは主に、売上債権の増加額8億65百万円、法人税等の支払額4億41百万円、たな卸資産の増加額1億51百万円があったものの、税引前四半期純利益が10億89百万円、仕入債務の増加額6億40百万円、減価償却費2億97百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は4億51百万円(同17.2%減)となりました。

これは主に、白岡工場環境対応設備及び本社新工場生産設備等の有形固定資産の取得による支出3億41百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2億40百万円(同16.6%増)となりました。

これは主に、配当金の支払額2億29百万円によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

現時点において、平成22年5月10日付「平成22年3月期 決算短信(非連結)」記載の通期予想を変更しておりません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響はありません。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,051,818	4,023,442
受取手形及び売掛金	5,364,140	4,498,505
有価証券	7,449	6,239
商品及び製品	1,304,708	1,137,412
仕掛品	333,649	376,022
原材料及び貯蔵品	151,455	124,480
その他	303,454	283,942
貸倒引当金	△7,509	△8,997
流動資産合計	11,509,167	10,441,048
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,810,058	1,845,185
機械及び装置（純額）	1,053,743	1,168,707
土地	1,072,072	1,072,072
その他（純額）	418,453	376,099
有形固定資産合計	4,354,328	4,462,065
無形固定資産		
投資その他の資産	134,185	135,066
その他	378,316	380,890
貸倒引当金	△25,178	△35,675
投資その他の資産合計	353,138	345,215
固定資産合計	4,841,652	4,942,348
資産合計	16,350,819	15,383,396
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,376,131	2,735,628
未払法人税等	510,086	463,660
賞与引当金	275,900	262,300
役員賞与引当金	10,675	21,350
株主優待引当金	29,737	59,157
その他	653,404	796,673
流動負債合計	4,855,935	4,338,768
固定負債		
退職給付引当金	205,996	178,501
役員退職慰労引当金	30,941	28,891
その他	101,049	74,500
固定負債合計	337,988	281,893
負債合計	5,193,923	4,620,662
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,408,600	2,408,600
資本剰余金	2,896,075	2,896,075
利益剰余金	6,076,761	5,678,483
自己株式	△209,118	△209,012
株主資本合計	11,172,318	10,774,146
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△15,422	△11,412
評価・換算差額等合計	△15,422	△11,412
純資産合計	11,156,896	10,762,734
負債純資産合計	16,350,819	15,383,396

(2) 四半期損益計算書

【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	8,831,260	9,529,563
売上原価	6,498,518	7,189,814
売上総利益	2,332,742	2,339,749
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	263,385	273,740
貸倒引当金繰入額	61,569	—
役員報酬	50,444	55,264
役員賞与引当金繰入額	8,299	10,675
給料及び手当	284,107	302,731
賞与引当金繰入額	95,912	96,275
退職給付費用	28,740	30,674
役員退職慰労引当金繰入額	2,000	2,050
福利厚生費	53,637	54,919
旅費及び交通費	49,204	47,444
賃借料	96,986	98,360
消耗品費	32,032	29,599
減価償却費	61,054	42,738
株主優待引当金繰入額	—	29,737
その他	181,057	183,958
販売費及び一般管理費合計	1,268,432	1,258,170
営業利益	1,064,309	1,081,578
営業外収益		
受取利息	3,455	2,564
受取配当金	1,754	2,140
仕入割引	15	—
受取補償金	9,465	4,402
雑収入	2,819	5,895
営業外収益合計	17,511	15,003
営業外費用		
支払利息	123	507
売上割引	1,203	1,165
支払補償費	2,353	947
為替差損	1,762	2,227
雑損失	114	50
営業外費用合計	5,556	4,899
経常利益	1,076,264	1,091,682
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	2,020
役員退職慰労引当金戻入額	4,075	—
特別利益合計	4,075	2,020
特別損失		
固定資産除却損	120,752	4,621
特別損失合計	120,752	4,621
税引前四半期純利益	959,587	1,089,081
法人税、住民税及び事業税	356,194	494,059
法人税等調整額	46,858	△32,971
法人税等合計	403,053	461,087
四半期純利益	556,533	627,993

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	959,587	1,089,081
減価償却費	298,451	297,282
貸倒引当金の増減額(△は減少)	60,294	△11,984
賞与引当金の増減額(△は減少)	12,300	13,600
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,250	△10,675
株主優待引当金の増減額(△は減少)	—	△29,419
退職給付引当金の増減額(△は減少)	21,058	27,495
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△248,625	2,050
受取利息及び受取配当金	△5,210	△4,704
投資事業組合運用損益(△は益)	90	△1,199
支払利息	123	507
有形固定資産除却損	117,292	2,920
無形固定資産除却損	1,547	630
売上債権の増減額(△は増加)	△453,847	△865,635
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,461	△151,898
仕入債務の増減額(△は減少)	180,785	640,502
未払消費税等の増減額(△は減少)	21,940	7,038
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△26,198	△7,626
その他の流動負債の増減額(△は減少)	48,797	48,638
その他の固定負債の増減額(△は減少)	8,265	△726
その他	△7,971	10,572
小計	972,972	1,056,450
利息及び配当金の受取額	5,565	5,462
利息の支払額	△123	△507
法人税等の支払額	△263,090	△412,761
過年度法人税等の支払額	—	△28,411
営業活動によるキャッシュ・フロー	715,323	620,231
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,711,009	△4,600,234
定期預金の払戻による収入	2,618,509	4,500,151
貸付金の回収による収入	652	584
有形固定資産の取得による支出	△421,687	△341,665
有形固定資産の売却による収入	—	269
無形固定資産の取得による支出	△1,558	△5,733
投資有価証券の取得による支出	△33,550	△2,967
出資金の分配による収入	2,999	—
その他	617	△1,588
投資活動によるキャッシュ・フロー	△545,027	△451,183
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△1,760	△11,056
配当金の支払額	△204,668	△229,592
自己株式の取得による支出	—	△105
財務活動によるキャッシュ・フロー	△206,429	△240,754
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△36,133	△71,707
現金及び現金同等物の期首残高	1,947,447	2,523,290
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,911,313	2,451,583

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当第2四半期累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

当社の事業は、液体・粘体包装フィルム及び高速自動充填機の製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

当社の事業は、液体・粘体包装フィルム及び高速自動充填機の製造・販売事業の単一セグメントであるため、部門・区分別に記載しております。

(1) 生産実績

当第2四半期累計期間における生産実績は、次のとおりであります。

区 分		生産高(千円)	前年同四半期比(%)
包装フィルム	液体・粘体自動充填用フィルム	6,867,012	+5.9
	ラミネート汎用品	1,560,228	+8.2
	その他	145,803	+2.1
	計	8,573,044	+6.3
包装機械	包装機械	445,436	+75.4
	その他	418,558	+44.4
	計	863,995	+58.9
合 計		9,437,040	+9.6

- (注) 1. 上記の金額は販売価格によっており、消費税等は含まれておりません。
 2. 包装フィルムの液体・粘体自動充填用フィルムには、粉末自動充填用フィルムが含まれております。
 3. 包装フィルムのその他には、版代等が含まれております。
 4. 包装機械のその他には、包装機械本体を除く周辺機器及び部品等が含まれております。

(2) 製品仕入実績

当第2四半期累計期間における製品仕入実績は、次のとおりであります。

区 分	製品仕入高(千円)	前年同四半期比(%)
汎用フィルム	242,893	△2.0
合 計	242,893	△2.0

- (注) 上記の金額は仕入価格によっており、消費税等は含まれておりません。

(3) 受注実績

当第2四半期累計期間における受注実績は、次のとおりであります。

区 分		受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
包装フィルム	液体・粘体自動充填用フィルム	6,934,508	+5.7	2,204,445	+8.3
	ラミネート汎用品	1,648,037	+9.1	263,947	+9.5
	その他	452,130	+0.6	101,549	+7.4
	計	9,034,677	+6.1	2,569,942	+8.4
包装機械	包装機械	550,556	+177.6	313,126	+983.0
	その他	636,238	+152.0	356,173	+674.0
	計	1,186,794	+163.3	669,299	+793.3
合 計		10,221,471	+14.0	3,239,242	+32.5

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. 包装フィルムの液体・粘体自動充填用フィルムには、粉末自動充填用フィルムが含まれております。
 3. 包装フィルムのその他には、版代等が含まれております。
 4. 包装機械のその他には、包装機械本体を除く周辺機器及び部品等が含まれております。

(4) 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

区 分		販売高(千円)	前年同四半期比(%)
包装フィルム	液体・粘体自動充填用フィルム	6,873,799	+6.0
	ラミネート汎用品	1,503,345	+9.9
	その他	444,644	+0.1
	計	8,821,789	+6.4
包装機械	包装機械	401,454	+48.5
	その他	306,319	+14.7
	計	707,773	+31.7
合 計		9,529,563	+7.9

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. 包装フィルムの液体・粘体自動充填用フィルムには、粉末自動充填用フィルムが含まれております。
 3. 包装フィルムのその他には、版代等が含まれております。
 4. 包装機械のその他には、包装機械本体を除く周辺機器及び部品等が含まれております。
 5. 輸出については、総販売実績に対する割合が100分の10未満であるため記載を省略しております。
 6. 主要顧客については、総販売実績に対する割合が100分の10未満であるため記載を省略しております。